

(※)ジャイロコプター…後ろ向きにつけられたプロペラで推進力を発生し、回転翼で揚力を生み出して空を飛ぶ航空機。ジャイロプレーン。

# 袋井 人

FUKUROI PERSONAL FILE

## 技術と情熱で作り上げた大空への翼。

### ジャイロコプターで今日も空へ

ジャイロコプター製作・操縦 小野田清さん(中新田)



「空を自由に飛び回れたら——」

誰もが一度は思い描く大空への夢。今から約40年前に自作自習のジャイロコプターでその夢を実現させ、現在も機体の製作と普及に取り組んでいるのは、小野田清さん(65歳)です。

「子どものころから飛行機が大好きで、空を飛ぶことばかり考えていました。」

昭和19年、5人兄弟の末っ子として湖西市で生まれた小野田さん。高校卒業後、父親の経営する鉄工所を手伝う傍ら、(社)日本飛行連盟にクラブ員として入会し、軽飛行機の操縦と飛行訓練を重ねてきましたが、数年で次の現実

にぶつかってしまいます。

「自分の飛行機が欲しいけれど経済的に手が出ない。操縦訓練生のままでも飛べるけど、飛行の度にお金が掛かる。でも、飛行技術維持のためには定期的に飛び続けなければならぬ。どうしたらいいのか。」

夢の実現と現実の間で悩んでいた時、購読していた航空雑誌の、とある記事の一文が目にとまりました。

「ジャイロコプター。自作自習で飛ぶことができる航空機。」

「これだ！」

さっそくアメリカから函面を取り寄せ

ジャイロコプターに乗り、操縦桿を握る小野田さん

た小野田さん(当時25歳)。何度も失敗を重ねながらも独学で製作に挑み続け、約2年後、ついに完成させたジャイロコプターで、大空を自由に飛ぶ夢を実現させたのです。

その後、30歳でジャイロコプターのキット販売と飛行指導を行う会社

を設立。機体の格納庫があり、飛行練習を行う海岸にも近い中新田に引っ越してきたのは平成7年で、これまでに約160機を販売するともに、自身も飛行を重ね、操縦の腕を磨いてきました。

そんな小野田さんが現在取り組んでいるのは、ジャイロコプターの災害支援への活用です。

「平成20年に、NPO法人静岡県災害支援隊から、ジャイロコプターを災害支援に利用できないかと声を掛けられました。地震など災害が起きた時にいち早く飛び立ち、上空から被害状況を確認し、情報収集にあたるなど、防災や災害支援への活用はとても有効だと思います。」

防災用に改良を加えたり、災害時を想定した実践的な離着陸訓練を行ったりと、新たな目標に向け、再びエンジンを熱くする小野田さん。大空への夢を叶えた小野田さんのジャイロコプターは今、防災・災害支援への利用という新天地に向かい、新たに飛び立ちつつあります。

## グループ紹介 袋井で活動中

### 月見の里 読み聞かせボランティア

#### ●絵本の持つ独特の世界が子どもに夢を与える

私たちは、月見の里学遊館で、子どもたちへの読み聞かせや、読み手同士が勉強する勉強会(ワークショップ)を行っています。

ワークショップでは、各回ごとのテーマに沿った絵本を数冊持ち寄り、その中の1冊をメンバー相手に朗読。その後、メンバー同士で絵本のいいところ、読み聞かせにふさわしいかどうかなどを話し合い、読み聞かせで読む絵本を選びます。また、大人になってからは、人に読んでもらう機会が少ないため、読んでもらって改めて絵本の素晴らしさに気づくこともあります。

また、自分が選ぶ本は偏りがちですが、メンバーそれぞれ、選んでくる本が違うため、色々な本に出会えることが楽しいです。読み聞かせボランティア募集中です！気軽にお越しください。



メンバーの皆さん

会員数 8人 代表 白井清子さん(入古町) ☎48-7452  
【読み聞かせ】 ▽就園前の子ども…第1水曜日10:30~  
▽小学生まで…第4土曜日13:30~  
【ワークショップ】 第1水曜日13:30~ 申込不要です



### 目指せ！全国大会出場

「9月12日に行われる『スズキジャパンカップ2010全国エアロビクス選手権大会中部地区大会』へ県代表として出場します。全国大会出場目指して頑張ります！」  
写真左から松尾香鈴さん、加藤そらさん、田辺七奈さん  
袋井フラッシュライトキッズ  
代表 西村良子さん ☎37-1069



### 市章の形をしたナスがとれました

「7月、育てているナスに変わった形をしたものがとれました。市章に似ていませんか？」 金井考人さん 山田

待ってます!

## 街の写真館

地域やサークルの行事、お気に入りの写真や子どもの写真などを郵送してください。写真には、タイトル、住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、電話番号、自治会名を書き添えてください。

送り先 〒437-8666  
袋井市役所秘書広報課広報広聴係



### スポーツで環境を考えます

「GSA遠州FUKUROIでは、ウォーキングやランニングをしながら、ごみ拾いを行っています。皆さんも気軽に参加してみませんか」  
GSA遠州FUKUROI 鈴木健司さん  
✉better\_choice\_eco55@yahoo.co.jp

## 市政Q&A

**Q?** 以前、集中豪雨で床下浸水の被害を受けました。対策工事をおうと思えますが、何か補助制度はありますか？



**A!** 大雨などによる床下浸水の被害を防ぐため、住宅のかさ上げ工事や、がけ地近くの危険な場所から住宅移転をする場合、補助が受けられます。

補助金は、借入金額によって異なります。  
☎ 44-3139  
問 建築住宅課宮繕係

### 〈がけ地移転補助制度〉

対象 傾斜が30度を超え、高さが2mを超えるがけ地に住宅が近い場合、安全な場所へ移転する場合  
限度額 ①危険住宅の除去などに要する経費：78万円  
②移転する住宅の建設費または購入費：444万円  
③移転する土地の取得費：206万円  
④移転する土地の造成費

近年、台風や集中豪雨による大きな被害が相次いでいます。事前に対策を行い、被害の減少に努めましょう。

### 〈住宅かさ上げ工事補助制度〉

対象 大雨などにより床上・床下浸水の被害を受けた住宅のかさ上げ工事をするため、金融機関などから借入れをする方  
利子補給金限度額 1戸当たり87万円。かさ上げ工事のために借入れる金額600万円までが利子補給金の対象です。利子

※②～④は金融機関などからの借入金の利子に対する補助です。  
問 建築住宅課建築指導係  
☎ 44-3123



※補助制度を利用する場合は、事前に市役所3階建築住宅課へご相談ください。